

## 平成27年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
広陵町	広陵町立真美ヶ丘第一小学校

## 1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

## 《地域の教育力の活用》

- ・地域の教育力をひき出し、活用する。

## 《学校を知ってもらう》

- ・学校の取組への参加協力・児童、職員との交流

## 2 特徴的な取組の概要

## (1) 昔遊びを楽しもうの会（第1学年）



「地域の方に昔からある遊びを教えていただき、地域の方との交流を楽しみ、昔の遊びに慣れ親しむ」ことをねらいとして、「昔遊びを楽しもうの会」に取り組んだ。当日は、名人さんをお迎えして、「紙ひこうき」「お手玉」「あやとり」「おはじき」「こま」「けん玉」などの昔遊びを教えていただいた。児童はグループで移動し、それぞれの遊びを順に楽しんだ。また、お礼と発表

の意味を込めて、国語科の「かぐやひめ」の学習で取り組んだ歌「かぐやひめ」を合唱したり、自作の「かぐやひめのカルタ」を紹介し、カルタ取りを楽しんだりして交流を行った。

## (2) お琴体験（第5、6学年）



「地域の方に琴と尺八の演奏を聴かせていただき、簡単な演奏を体験させていただくことで、地域の方とのつながりを深め、日本古来の楽器の音色や演奏に親しむ」ことをねらいとして、琴・尺八鑑賞会を行った。琴と尺八の音が出る仕組みや演奏の仕方の説明を聞き、音の高さが違う琴同士の演奏や、琴と尺八を組み合わせた演奏を聴かせていただいた。さらに、児童は琴と尺八に分かれてそ

れぞれの楽器を奏でる体験をした。特に尺八は、独特の音色を出すのも難しく、児童は地域の方の助言を受けながら何とかよい音を出そうと吹き方を工夫していた。また琴は、弦の弾き方や、それぞれの弦の音の高さなどを教えていただき、ラバーズコンチェルンという曲の一部を演奏する練習をした。最後には児童が琴とリコーダーでラバーズコンチェルンを合奏することができた。